

パソコンいっしょに教室新聞

今月もセキュリティのお話です。少しでも安心・安全に使うために、現在の設定を見直したり、更新処理のことを気かけたり、日頃の注意も必要です。

ブラウザの安全性

インターネットで、Webページを閲覧するために使用する「ブラウザ」ソフト。今年の2月号でも特集しましたが、様々なブラウザソフトが存在しています。ウインドウズ10に標準でついているのは「エッジ (Edge)」と「インターネット・エクスプローラー (IE)」の2種類です。

どちらを使っても表示されるページは同じものです。ただソフトが異なりますので、使い勝手も若干異なります。では、なぜ2種類も標準で用意されているのでしょうか。新しい仕様で作られているのは「エッジ」です。「IE」は古い仕様で作成されています。新しい方だけがあれば良さそうなのですが、実際のWebページには古い仕様で作成されているものもまだたくさんあり、古い「IE」でないとうまく表示されない場合もあります。そのために新旧の2種類が用意されています。



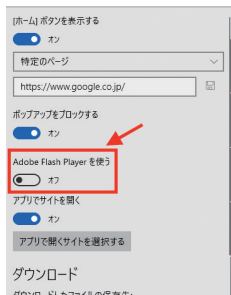
ページを作成する側も、仕様を新しく変更する作業もおこなっていますが、追いついていないのが現状のようです。

古い「IE」の利用はなるべく避けておくほうが無難です。仕様が古いために他のブラウザに比べてセキュリティの「脆弱性」が多く存在し、ウィルスの感染などがやはり気になります。

動く画像にも注意

Webページの中には、YouTubeなどのビデオ映像の他に、ページ内で動く画像が配置されているものもあります。その中には「フラッシュ (Flash)」という仕組みを用いているページもたくさんあります。このFlashという仕組みは、再三セキュリティ上の脆弱性が発見されては、修正されの繰り返しで、一向に解決されていません。そのままの表示にしておく、Flashで動く画像を利用したウィルスに狙われているかもしれない。

そのためにブラウザにはFlash動画を再生しないオプションがあります。自動で再生されないように「無効」にしておきましょう。

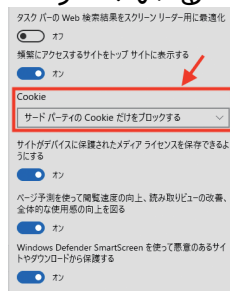


Edge の設定画面

広告表示を調整

昔前では、ページに表示される広告は固定されていました。最近はどんどん技術も進歩してきて、同じページでも使い手によって表示が変わるようになってきました。そのため、どのページを見ても似通った広告が表示されることにお気づきでしょうか。

これは「クッキー (Cookie)」と呼ばれるデータが利用されています。クッキーは、Webページを見る毎にパソコンに保存されていきます。その内容には「ページを見た履歴」なども含まれます。広告を配信する側ではこのクッキーを参照して広告を表示する仕組みになっています。広告の表示は止められませんが、この仕組みをブロックする事もできます。ただ、中にはブロックすると、ちゃんと表示できないページも存在しますので、その時は切り替えて表示するようにしましょう。



Edge の設定画面「サードパーティの…」を選択

ソフトのアップデート

先月はウィンドウズアップデートについて触れましたが、OS以外のソフトもアップデートが必要です。ワードやエクセルの「オフィス (Microsoft Office)」。使用中に更新の案内が表示されたり、画面右下に案内が出たりします。他にインストールしているソフトが有れば、同様にアップデートが必要です。都度表示される案内に従いましょう。

その他、ジャバ (Java)、アドベア (Adobe Air)、アドベフラッシュプレイヤー (Adobe Flash Player)。これらも画面上に案内が表示されます。

少しでも安全に使用するために、現行の設定を見直したり、OSなどのアップデートは怠らないようにしましょう。

教室のWebページは左記アドレスから、スマホ・携帯からは、QRコードからご覧いただけます。新聞バックナンバーもご覧いただけます。

<https://pc-iwakura.com/>



See you next month